

A-01 日本画材料研究

講 師 瀬永 能雅 〈セナガ タカマサ〉**コース** 芸術学部 芸術学科 美術領域 日本画コース 教授**科 目** 日本画実技 他**可能日** 木・金曜日**形 式** 実技・ワークショップ**講義内容**

日本画体験者向けに、紙や墨、各種顔料の特性を解説し、納得できる技法を学びます。参加者のニーズ、興味に合わせて出来るだけ対応いたします。

【必要機器】

運筆ができるような教室環境

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

筆（大・中・小）、墨、絵の具皿

【受講される方にひとこと】

扱いが難しいと言われる日本画の材料ですが、知ることによって面白さや面白さ変わっていきます。

A-02 超デッサン

講 師 瀬永 能雅 〈セナガ タカマサ〉**コース** 芸術学部 芸術学科 美術領域 日本画コース 教授**科 目** 日本画実技 他**可能日** 木・金曜日**形 式** 実技・ワークショップ**講義内容**

思い通りに描くためのポイントを解説し、モチーフを観察しながら自覚を促していきます。見方を変える事で、自分の限界を超えるお手伝いをさせていただきます。

【必要機器】

デッサンを行える環境

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

デッサン用具一式（画用紙数枚かスケッチブック、鉛筆、練りゴム、カルトン又はパネル、クリップなど）

【受講される方にひとこと】

自分がものをどうみているか自覚するためのプログラムです。

A-03 ゲンダイ水墨画講座 ―ニジミ・ボカシ・フデノアト―

講 師 長谷川 喜久 〈ハセガワ ヨシヒサ〉**コース** 芸術学部 芸術学科 美術領域 日本画コース 教授 美術領域主任**科 目** 日本画実技 他**可能日** 月曜日**形 式** 実技・ワークショップ**講義内容**

墨という画材の特質を説明、実際に制作する事でその画材への興味と親しみを持ってもらいます。古典技法だけではなく、時代に即した現代絵画の使用方法も交えながら、満足度の高いワークショップ作品制作を進めていきます。

【必要機器】

特になし

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

和紙（表面ドーサ引き）、パネル、墨、硯、筆、2B 鉛筆
※ご要望であれば相談の上全てこちらで準備する事も出来ます。

【受講される方にひとこと】

この講座では従来からある水墨画の印象に現代的な視点を加えた作品を制作いたします。皆さんお楽しみください。

A-04 日本画体験

講 師 山守 良佳 〈ヤマモリ ヨシカ〉**コース** 芸術学部 芸術学科 美術領域 日本画コース 講師**科 目** 日本画実技 他**可能日** 要相談**形 式** 実技・ワークショップ**講義内容**

日本画とは何か。その歴史に簡単に触れ、和紙、岩絵の具、溶剤の膠を使い日本画の小作品を制作します。所要時間は1時間から2時間程度です。

【必要機器】

水、ドライヤー2個が使える作業環境が必要です。

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

野菜、果物、花、貝殻などモチーフをご持参ください。

【受講される方にひとこと】

伝統的な日本画材の美しさを楽しむ体験しましょう。

A-05 絵画の魅力は線の魅力

講 師 吉本 作次 〈ヨシモト サクジ〉**コース** 芸術学部 芸術学科 美術領域 洋画コース 教授**科 目** 洋画実技 他**可能日** 土・日・月曜日**形 式** 講義**講義内容**

絵を鑑賞したとき、どうしてこれが名画なの？と首をひねった方は多いと思います。どんなに描かれた意味や時代背景を説明されても、理解と感動は別ですね。実は、絵画のプロはまったく違う視点を持っています。その秘訣をお教えます。線が分かれば絵画が分かります。

【必要機器】

PC、プロジェクター、スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

画像や漫画、音楽等を活用して講義を行います。お気軽にご参加ください。

A-06 絵画作品における筆致の関係

講師 須田 真弘 〈スダ マサヒロ〉

コース 芸術学部 芸術学科 美術領域 洋画コース 教授

科目 洋画実技、クロッキー、美術研修、同時代表現研究

可能日 要相談

形式 講義

講義内容

絵画における筆致をテーマに、そのイメージが時代と共に変化する一方、筆致も表現をするアーティストの考えや身体的な影響を受けながら出現します。美術史や現代アートの中で展開される様々な作品を紹介しながらお話をします。

【必要機器】

プロジェクター、スクリーン、マイク（ノートパソコンは持参します。）

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

美術館などでの絵画鑑賞

【受講される方にひとこと】

気楽な気持ちで参加してください。

A-07 顔料のおはなし

講師 中澤 英明 〈ナカザワ ヒデアキ〉

コース 芸術学部 芸術学科 美術領域 洋画コース 教授

科目 洋画実技、絵画技法材料論

可能日 月曜日（水曜日は可能な日もあり。要相談）

形式 講義

講義内容

洋画における色の使い方には、観察した色、図像学的な色、顔料本来の色を大切にしたものなどいろいろあります。古くから使われて来た自然界に存在する鉱物や動植物の色素由来の伝統的顔料を通し、絵画の色について考えてみる。

【必要機器】

PC、プロジェクター、スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

日常にげなく使っているものに、少しでも興味を持っていただけたら幸いです。

A-08 アーティストの活動内容（現代美術）

講師 秋吉 風人 〈アキヨシ フウト〉

コース 芸術学部 芸術学科 美術領域 現代アートコース 准教授

科目 洋画実技Ⅱ-1、洋画実技Ⅱ-2、美術実技(洋画)3-1[洋画2]、美術実技(洋画)3-2[洋画2]

可能日 木曜日

形式 講義

講義内容

学生時代から現在まで、アーティストとしてどのような活動を行ってきたかを、画像や参考資料を用いながら紹介します。

【必要機器】

プロジェクター、スクリーン、マイク、延長コードなど

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

現代のアートがどのような仕組みで社会と繋がっているかの一例を知ってもらえる機会になればと思います。

A-09 創造と捏造のあいだ

講師 田村 友一郎 〈タムラ ユウイチロウ〉

コース 芸術学部 芸術学科 美術領域 現代アートコース 准教授

科目 洋画実技Ⅱ-1、洋画実技Ⅱ-2、洋画実技Ⅲ-1、洋画実技Ⅲ-2、洋画実技Ⅳ-1、洋画実技Ⅳ-2、同時代表現研究

可能日 木曜日

形式 講義・ワークショップ

講義内容

創造とはいかなるものか。ある学者は「異質の情報や物を今までにはない仕方で結合し、新しい価値をつくりだす過程」とした。創造は無から有をつくることではないとすれば、捏造もあながち創造とは遠くない距離にある。

【必要機器】

プロジェクター、スクリーン、スピーカー、マイク ※PCは持参します。

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

創造を捏造と言い換えてみます。何が起ころのか想像してみてください。

A-10 アートコーディネート・アートマネジメントの仕事

講師 吉田 有里 〈ヨシダ ユリ〉

コース 芸術学部 芸術学科 美術領域 現代アートコース 准教授

科目 美術文化各論、芸術計画演習 他

可能日 要相談

形式 講義

講義内容

現代美術分野のアーティストとともに作品の制作に必要なサポート、発表の場づくり、鑑賞者や社会との橋渡しをするのがアートコーディネート・マネジメントの仕事です。事例とともに仕事について紹介します。

【必要機器】

プロジェクター、スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

アートにまつわるお仕事に興味がある方への講義になります。気軽に参加ください。

A-11 アートのお仕事

講師 松岡 徹 (マツオカ トオル)

コース 芸術学部 芸術学科 美術領域 コミュニケーションアートコース教授、芸術学科長

科目 アイディアとエスキース、ペーパーメイキング、アニメーション 他

可能日 月・水曜日

形式 講義

講義内容

これからの社会に必要なアートの力ってなんだろう？自分の才能やアイデアを生かしていくにはどうしたらいいのか？美術とデザインの違いとは？など、様々なクリエイターの写真や映像をお見せしながらお話をします。

【必要機器】

プロジェクター（持参も可能）、スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

どんな美術やデザインに興味があるか自分の周りを観察してください。

【受講される方にひとこと】

ものを作る力、アートの力で社会で活躍できるクリエイターになろう！

A-12 アイディアとドローイング

講師 松岡 徹 (マツオカ トオル)

コース 芸術学部 芸術学科 美術領域 コミュニケーションアートコース教授、芸術学科長

科目 アイディアとエスキース、ペーパーメイキング、アニメーション 他

可能日 月・水曜日

形式 講義

講義内容

クリエイターは作る仕事ですが、観察し情報を集め、アイデアを出すことも技術と同じように大切です。1つのテーマに対しドローイング（エスキース）を描いて様々なアイデアを出していく授業です。

【必要機器】

プロジェクター（持参も可能）、スクリーン、紙（コピー紙程度）、鉛筆

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

自分ならどんなものを作りたいか想像してください。

【受講される方にひとこと】

自分が考えたものが現実になっていくプロセスを体感してください。

A-13 みえないをみる ―ねんどでできるかたち―

講師 中田 ナオト (ナカダ ナオト)

コース 芸術学部 芸術学科 美術領域 工芸コース 准教授

科目 美術実技1-1（美術ファンデーション）、美術実技1-6（陶芸）、美術実技III-8（工芸）他

可能日 要相談

形式 実技・ワークショップ

講義内容

私たちは多くの情報を視覚に頼って生きています。しかし、意識的に見ようとしなければ見えていないようです。そこで視覚を遮断し、触覚や聴覚など視覚以外の感覚を頼りにねんどを使って受け止めた感覚を形にします。

【必要機器】

粘土板（木製の板）、プロジェクター、スクリーン、延長コード

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

目隠しのできるもの、汚れてもよい服装

【受講される方にひとこと】

出来上がるものに良い悪いはありません。皆さんが感じたままを、または手探りで出会ったものが、皆さんにとっての正解です。身体感覚と素材を頼りに作ってみましょう。

A-14 日常とアート&デザイン

講師 中田 ナオト (ナカダ ナオト)

コース 芸術学部 芸術学科 美術領域 工芸コース 准教授

科目 美術実技1-1（美術ファンデーション）、美術実技1-6（陶芸）、美術実技III-8（工芸）他

可能日 要相談

形式 実技、ワークショップ

講義内容

私たちの日常は、アートとデザインで溢れています。思いがけない風景に出会った時には、ハッと驚いたり、なんだか気持ちが高揚したりします。日常の風景を切り取り、様々な視点でアートとデザインのお話をします。

【必要機器】

プロジェクター、延長コード、スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

普段の生活の中で、アートとデザインについて思いを巡らせてみてください。

【受講される方にひとこと】

思いもよらない発見やものの見方について、きっかけとなる時間が持てることを期待しています。

A-15 アートとデジタル

講師 岡川 卓詩 (オカガワ タクジ)

コース 芸術学部 美術学科 美術領域 美術総合コース 准教授

科目 アート概論、美術実技II-7（映像・アニメーション）、IV-1（自由制作）他

可能日 要相談

形式 講義

講義内容

現代社会において、アートはどのような役割を担っているのでしょうか？インターネットやいろいろなメディアとアートの関係について事例を紹介しながら、この時代におけるアートの意義についてお話をします。

【必要機器】

プロジェクター、スクリーン、スピーカー

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

いつも触れているスマホからアートに対する新しい見方を発見しましょう。